



戦前の御本殿（西側面より）

奉祝 天皇陛下御即位



終戦記念日祭挨拶

宮司 額田 照彦

御祭神数

当神社に御鎮祭申し上げております御祭神は四万九千七百二十八柱です。

戦後七十四年目の夏を迎えた、本日の終戦記念日祭に際しましては、台風十号による悪天候にも拘わりもせず、ご参列賜りまして誠に有難く厚く御礼申し上げます。

また、本日ご参列の皆様方をはじめ、友好団体、崇敬者の皆様方には、日頃より英霊の慰霊顕彰、神社護持運営に、格別のご理解・ご配慮を賜り重ねて御礼申し上げます。

只今、御神前に謹しみて、皇室の弥栄と、先の大戦に於きまして、国の為尊い命を捧げられ、護國の御霊となられました英霊に対し、報恩感謝と御霊の安鎮、国家国民の安全、世界平和をご祈念申し上げます。

さて例年、終戦の日を前にした七月中旬頃になると、各テレビ局や新聞社等が「終戦の日」の特集番組の制作や、特集記事執筆の

為、遺族会・戦友会への取材の申込や、相談があり、神社へも問い合わせがあります。本年も「愛媛県富山丸戦没者遺族会」「愛媛シベリアを語る会」等への取材の申し込みがあり、団体に寄っては、取材場所として、是非神社の「祈念史料室みゆき」でとの強い要望を頂き、神社の史料室や神社拝殿等で、かなりの長時間、取材の場所としてご利用頂きました。また、質問応答取材の他にも、史料室に展示の貴重な史料関係も時間をかけて熱心に取材頂きました。

戦後七十四年が経ち、高齢化が更に進み、貴重な戦争体験を語り継ぐ人々が限られてきた昨今、貴重な戦争体験を語り、取材等を受ける場としても、戦争史実を伝える、貴重な展示史料を備える、この神社の史料室が、多

少なりとも役立つていることが、なお有難いことだと思っております。

新聞社の特集記事のタイトルにもありますように、「次代へつなぐ」との見出しの通り、生きた戦争体験・教訓を、次の若い世代へ、客観的に伝えて継承していくことが、今の時代的に、より重要な課題となっているといえます。

戦後生まれの人口も、一億五百万人を超え、総人口の八十四%に上り、いよいよ八月十五日を語れる人が少なくなる中、この価値のある「祈念史料室みゆき」は、御遺族の高齢化、戦友会の解散等が進む中、まさに新聞社の、特集記事のタイトルにもある「次代へつなぐ」即ち、次世代に英霊の「慰霊」と「顕彰」「ご遺徳」を伝承していく上で、重要な施設として、今後も運用、活用していきたいと存じます。

本日ご参列の皆様方を始め、友好団体、崇敬者の皆様方には、引き続き英霊の慰霊顕彰に、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、ご参列の皆様のご健勝と、益々のご活躍をお祈り申し上げ、以上簡単ではございますが、ご挨拶とさせて頂きま

す。
長時間に亘り、台風十号による悪天候の中、ご参列賜り誠に有難うございました。



御朱印ガールと史料室みゆき

愛媛縣護國神社崇敬会

会長 愛原 章

年配の方には、余り知られていないかもしれませんが、御朱印を集めるのが、女子の間でちょっとしたブームになっています。

勿論、愛媛縣護國神社でも御朱印帳に神社の名前等を書き込み、御朱印を押してあげています。

それで愛媛県の神社等で、人気ナンバーワンとなっているのが、誰もが一度はお参りしたことがあると思いますが、大山祇神社です。そして二位が、子供の頃によく「おたやん館」を買いに行った椿さん、伊豫豆比古命神社です。三位は何故か焼き餅を買っていた石手寺です。それから、千年以上の昔から鎮座されている道後の伊佐爾波神社、石鎚神社と続きます。六、七位を飛ばして、愛媛縣護國神社は八位となっています。

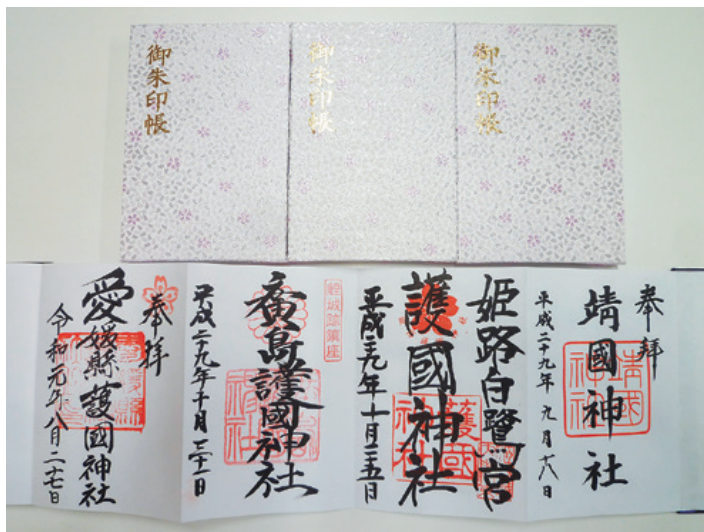
これはインターネットで調べた結果ですが、そこにある愛媛縣護國神社の評価として、御朱印帳の「愛」の文字が大きく強調されている、というのが良かったようです。

愛媛県では、「愛がある」という言葉がよく使われていますので、今後は「愛」を強調して大いに頑張ってほしいと思っていますが、皆さんも御朱印集めを、愛媛縣護國神社

から始めてみてはいかがでしょうか。

私は靖國神社の御朱印を頂いた御朱印帳を友達からもらって、まだ御朱印は三箇所しか頂いていません。機会があるごとに増やしていきたいと思っていますので、皆さんも始めてみてはいかがでしょうか。御朱印帳は護國神社に置いてあります。

また、全国の神社で人気ナンバーワンは、名古屋市の別小江神社です。古くから安産、小児の守護神等として知られているように、由緒ある神社だそうです、月毎に変わる、



カラフルなアート御朱印に人気が集まっているそうです。

ですが、よく知られている大阪の住吉大社が十位、日光東照宮が十一位、靖國神社は十三位、京都の伏見稲荷大社が十五位、なぜか伊勢神宮内宮は二十位、宮島の嚴島神社が二十一位となっています。

この御朱印集めの関係で、愛媛県護國神社に若い女性の方も来られるようで、神職の案内で「祈念史料室みゆき」を見学し、意見や感想を記して帰られる方たちの中に、女性の名前がかなりあります。

また、祈念史料室には、東京、神奈川、愛知、石川、福井、京都、大阪、静岡、福岡等から見えた人も散見されますので、御朱印効果も計算に入れて、他県の方々にも満足して頂ける「みゆき」として、展示内容の充実を考えています。

そして、昭和の戦争については、特に戦没者に対する関心が高いと思いますので、戦没者の遺影とは別に、各遺族会より寄贈された戦没者の顕彰録名簿等をより見やすく配置するようにしたいと考えています。戦没者名簿を作成されている支部は、忘れないうちに是非とも神社へ納めて頂きたいと思えますし、関行男命の出身県でもありますから、特別攻撃隊の隊員についても関心が高いようです。

それで陸海軍の愛媛出身者を調べ、出来るだけ多くの隊員の戦没者の方々のお名前を閲覧できるようにしていきたいと考えていま

す。皆様方の手持ちの資料等も参考にさせて頂きたいと思えますので、県の事務局まで届けて頂けたら幸いです。

愛媛県護國神社の愛される「祈念史料室みゆき」として、御朱印を集めておられる方たちとの相乗効果で、多くの人に知られていくことを期待しています。

益々重きを増す言い伝え

愛媛県遺族会

会長 関谷 勝 嗣



新元号、令和の時代を迎えました。

元号が改まったからといって世の中が急に変わるとか、我々の生活環境が一変するといふ訳ではありませんが、新元号のもと、改めて気持ちを引き締め、がんばろうと、決意する等の転機にすることはできるのではないのでしょうか。そこで、我々遺族会会員も、

一、英霊の慰霊顕彰を行う。出来得れば、遺族会会員以外の方々への参加を促す。

一、新元号のもと、平和の尊さと戦争の愚かさを後世に伝える。

この二つの務めの重要性を改めて認識しなければなりません。戦後生まれが八十七%になった今日、生き残った会員が、戦争の愚かさをしっかりと後世に伝え、残さなければなりません。

戦後七十四年。何が一番大きく変わったのでしょうか。それは、我々国民の生活水準の向上でしょう。しかし、故事ことわざに「衣食足りて榮辱を知る」とありますが、それがなされていません。トランプ大統領に始まり多くの人々が、マイファーストで自己中心的になってしまいました。今後は、戦後築かれた国際連合を中心に、世界が協調の精神で諸問題を解決する状態に戻さなければなりません。

まず、近年問題になるのは、地球温暖化です。この言葉では足りないくらいの暑さで、熱射化と言った方が良いと思うくらいです。自然破壊の上に成り立っている生活環境の上は、これ以上続けば地球自体が破滅するでしょう。人間との関係においても、自然界との関係においても、マイファーストの考えではなく、調和、協調の基本概念で行わなければなりません。そうしなければ、これ以上の発展はなく、逆に破滅への道をたどるでしょう。

さらに、欧米を中心に政治体制をも揺るがしかねない問題が起きています。難民、移民問題です。悪政による弾圧と貧困から逃れてくる難民の受け入れの問題は、単に欧米諸国だけの問題ではなく、陰に陽に世界全体の問

題になっています。日本も無関係でいることはできません。

かつて移民として渡り、その国の国民になつてゐる人達も、今や次の世代になり、その人達は自分の職業を新しい移民に奪われることが許せない。併せて犯罪者には移民者が多く、ISに通じる者もいる等々、対処するには大変難しいこのような問題も、マイファースト的な感覚を醸成しているのです。

次に、EU諸国内においては、財政赤字が規定額を超えると緊縮予算を要求され、時の政府は当然、予算削減や増税を行わなければならない。ところが選挙になれば、大衆は反増税や甘い言葉の候補者に投票し、そこにポピュリズム(大衆迎合主義)が発生し、政局が不安定になつてしまふ。大衆に迎合し当選した者も、いざ政権を担う段になると甘い政策運営はできなくなり、政局は益々混迷を極めることになりまふ。

一方、米中間の貿易摩擦、米国のマイファースト主義による他国間との非協調性、難民、移民問題での欧米の混乱等、今や世界情勢は混迷を極めています。大変心配です。このような時こそ、協調、調和の精神が必要なのではないでしょうか。

結びに、遺族会の皆様の心安らかな日々と護國神社の隆盛を心からお祈り申し上げます。



『戦友団体等による慰霊祭』

平成三十一年

四月十 九日 松山市戦没者遺児有志の会

四月二十九日 松山歩兵第一二三連隊・南洋第一支隊

令和元年

五月十 一日 愛媛シベリアを語る会

五月二十二日 愛媛県殉職消防職団員

『遺族会等による慰霊祭』

平成三十一年

四月 三 日 西条市丹原町中川

四月十 一日 西条市徳田

四月十 六日 今治市大三島町

四月二 十日 今治市大西町

四月二十二日 西条市周布

四月二十三 日 西条市三芳

四月二十三 日 西予市野村町野村

四月二十五 日 今治市吉海町

四月二十五 日 松山市正岡

四月二十七 日 今治市朝倉

令和元年

五月 十 日 西条市楠河

五月二 十日 西条市国安

六月二十六 日 今治市宮窪町

六月二十九 日 愛媛県富山丸

七月二十五 日 西予市野村町溪筋

〔奉納者並びに寄贈図書〕

一、CD 護国の桜「千の約束」 松江市殿町

松江護國神社様

一、明翔「新・光の道」総集編 千葉市緑区おゆみ野

松葉研究所様

一、「護國神社の現状と今後」(レポート) 大阪市住之江区南加賀屋

大阪護國神社様

一、「青銅の法」 太宰府市五条

幸福の科学太宰府支部様

〈永代祭祀料基金奉納者御芳名〉

平成三十一年 四月

一、三万円也 今治市大西町宮脇 阿部 克己様

令和元年 七月

一、三万円也 松山市道後今市 大西 節子様

平成三十一年(四月)

春季慰霊大祭奉仕者

(敬称略)

愛媛県遺族会代表献供奉仕者

女性 部 伊予郡砥部町高尾田 門田 美智子

遺 児 伊予郡砥部町高尾田 門田 哲也

献茶菓奉仕者（茶道裏千家淡交会松山支部）

小立宗代社中 松山市太山寺町

小立宗代社中 松山市安城寺町

献花奉仕者（愛媛県華道会）

聽 春 流 松山市二番町

聽 春 流 松山市二番町

敬神婦人会代表献供奉仕者（愛媛縣護國神社敬神婦人会）

西条市遺族会 西条市国安

西条市遺族会 西条市河原津

幣殿献花奉仕者（華道家元池坊松山支部）

松山市三町 神原 淳子

松山市客 喜多 惠美子

献吟奉仕者（清吟堂吟友会）

九日 靈壘奉安祭

《献吟奉仕者》

清吟堂吟友会 紙野 麗月

清吟堂吟友会 佐伯 麗媛

清吟堂吟友会 二神 鷲風

《尺八献奏者》

清吟堂吟友会 元岡 清專

十日 春季慰靈大祭

《献吟奉仕者》

清吟堂吟友会 笠崎 麗華

清吟堂吟友会 山本 清晨

清吟堂吟友会 永井 清長

《尺八献奏者》

清吟堂吟友会 岩見 忍蒼山

九日 靈壘奉安祭

《献謡》

村井安夫会長以下有志一同

万葉苑だより

ムラサキ匂う愛媛万葉苑

愛媛万葉苑保存会

常任理事 藤原 茂

平成八年開苑三十周年を迎え、苑の整備運営の改善充実を図るため、「万葉苑整備委員会」ができた。当時全国には七十三か所の万葉植物園があったが、委員会の有志で関西の大阪八尾市の「第一・第二万葉苑」、奈良の「国营飛鳥歴史公園」、「橿原万葉の森」、春日大社神苑万葉植物園、兵庫の稲見町「いなみ野万葉の森」を見学したことがあった。

それぞれ特色があり大変参考になった記憶がある。その時お土産に愛媛万葉苑で育成したムラサキの苗を持参した。ご承知のようにムラサキは繁殖が結構難しい植物である。

最初に訪問した八尾市の「第一万葉苑」では園にない植物で珍しいと大喜びされた。育成した久保さん（県果樹試験場OB）は余りにも喜ばれるので持参していたものを全部差し上げてしまった。それから訪ねた総ての園でムラサキが話題になり、結局は帰ってから育成中のムラサキの苗を各園に送ることになった。しかし今はまた絶えてしまったようだ。

ムラサキは多年草で高さ五〇センチくら

い。もとは全国各地の日当たりの良い土地の草原に生えていたもので、夏には白い小さな花をつける。紫根は古来重要な染料（紫根染）として栽培されてきた。また根を乾燥させて皮膚病、解熱、解毒、火傷など薬用にも使われてきた。万葉集には十七首に詠まれており、古くから暮らしに馴染の深い植物であった。

中でも有名な歌が巻一の二〇、「あかねさす紫野行き標野行き 野守は見ずや君が袖振る：額田王」である。これは天智天皇が天皇二年癸亥年（六六三）五月五日、皇太子（大皇弟大海人皇子、後の天武天皇）・諸王・内親・群臣を従えて近江の蒲生野（標野・菓草園）に葉狩された時、額田王が皇太子大海人皇子に贈った歌である。

これに応えて皇太子が返した歌が巻一の二



○「紫草のほえる妹を憎くあらば 人妻ゆえにあれ恋ひめやも：大海人皇子」である。標野である葉草園を歩きながら、皇太子である大海人皇子が額田王に対して袖を振りあげずるのを見て、額田王は野守に見られるのではと案じているが、大海人皇子は「紫の色の美しく匂うように美しい妹（おまえ）」が、若しも憎いのならば、もはや他人の妻であるお前にこれほどまでに恋する筈はないではないか。こんな危ないことをするのもお前が可愛いからである」と言うのである。

この額田王は天智天皇に愛された万葉集第一の女流歌人で、「にぎたつの碑」歌を詠まれたわが万葉苑にも縁の深い歌人である。

ところが、額田王は曾て天智天皇の弟である大海人皇子（後の天武天皇）の妻として、十市皇女（後の弘文天皇の后となる）を産んでいた仲であった。世にいう壬申の乱の一端とも伝えられており、額田王は再び近江朝に仕えることになった。人の世の命運と愛憎はまことに複雑微妙である。

こんな歌もある。「託馬野に生ふる紫草衣に染め いまだ着ずして色に出でにけり：笠郎女」歌は「託馬野に生えている紫草の根から採った染料で衣服を染め付け、それをいまだ着ない内に、派手な紫色が人目に立ってしまった」という意味だが、これは笠郎女が大伴家持に贈った歌で「私は貴方を慕い、その想いが遂げられない内に早くもそれが世間の評判になってしまった」というのである。

このように「むらさき」にまつわる名歌は多い。京洛の紫野はわが青春の思い出の地でもある。だが花は純白可憐で気品はあるが、真に小さく多くの人は見てがっかりされる。わが家でも採種し、何とか発芽にこぎつけ育てていると、花を期待している家内などには全く人気なく、いつか抜かれてしまいかねないのが実情である。

それはさておき、要するにムラサキは染料として、しかも紫色は貴族の色として重宝されてきた。つまり、古代「衣服令」があった、位階を冠や衣服の色で差違をつける制度で、飛鳥時代から度々変遷してきた。大宝律令年の七色十三階制の事例などでは、紫色が常に最高の位階を表している。



ムラサキの苗

先述したように紫の染料はムラサキの根から採取（紫根染）するために各地で栽培されてきた。鎌倉時代の岩手紫根、徳川時代の江戸紫根がとくに名高い。他では奥羽、甲州、総州、播磨などが有名であった。栽培は江戸時代が最盛期で明治に入ると衰退し、花輪市の「鹿角の紫根染」森岡の「南部染」など僅かに残っていた。しかし明治維新以降になって海外から染料の「アリニン」が輸入されるようになり、急速に栽培されなくなった。今は野生のものも少なく、僅かに愛好家の間で栽培されているに過ぎない。

栽培では繁殖が難しいが、幸い愛媛万葉苑では久保さんのお蔭で、技術を受け継ぎ年々繁茂しており、全国の万葉植物園でも珍しい事例となっている。

正式参拜

☆平成三十一年四月三日

松山市遺族会監査

会長 乗松 悟様

計五名

☆平成三十一年四月十五日

松山市遺族会女性部総会

部長 清家 征子様

計四十名

☆令和元年五月二十七日

愛媛県遺族会女性部会長・

青年部代表者

会長 関谷 勝嗣様

計十九名

☆令和元年五月三十日

愛媛県遺族会理事會

会長 関谷 勝嗣様

計二十二名

☆令和元年六月四日

松山市遺族会役員會

会長 乗松 悟様

計四十五名

☆令和元年六月十一日

兵庫県神社庁姫路支部

神社総代会

姫路支部長

高島 俊紀様

姫路地区総代会長

富田 宏様

計五十名

☆令和元年六月二十七日

愛媛県遺族会評議員會

会長 関谷 勝嗣様

計三十名

☆令和元年七月一日

英靈にたえる会愛媛県本部総會

会長 佐伯 要様

計三十名



☆令和元年八月八日

愛媛県瓦工事業組合

理事長 菊池 陽一郎様

計二十名



☆令和元年八月十一日

三宅浩正後援會事務所清掃奉仕

愛媛県議會議員三宅浩正様

代理 三宅 美香様

計二十名

☆令和元年九月十日

後継者・慰霊巡拝参加者・女性部

英霊研修會

愛媛県遺族會

会長 関谷 勝嗣様

計二百名



☆令和元年九月二十一日

和プロジェクトTAISHI

奉納揮毫

書道家 林 龍峯様

計五十名

愛媛縣護國神社英靈顕彰会 入会と継続のご案内

平成26年11月の設立以来、ご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。
 今後も英靈のご遺徳を顕彰し後世に伝えてゆくために、愛媛縣護國神社英靈顕彰会へのご入会と継続のご協力をお願い申し上げます。

英靈顕彰会会員の特典

各特典	正会員	賛助会員	特別会員	備考
会費(年額)	3,000円以上	10,000円以上	100,000円以上	
会員対象	個人	個人・団体	個人・団体	
神札	御守	紙札	木札(小)	年1回発送
社報	年2回発送	年2回発送	年2回発送	
春秋大祭案内	×	×	○	一般来賓案内
顕彰石彫	×	×	○	

お申し込み・お問い合わせは、社務所まで。

御祈禱(お祓い)の御案内

当社では各種祈願を随時お受けしております。
 時間等は社務所へお問い合わせ下さい。

初宮詣
 七五三詣
 厄除け
 交通安全
 家内安全
 合格祈願
 社運隆昌
 新年特別祈禱
 その他